

第 5 4 回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

標準時間	1 1 時間
打ち切り時間	1 1 時間 3 0 分

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし、電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずる事がある。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (12) 課題と図面にメモ書きを入れることは禁止とする。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕様

3-1 石積み（小端積み）

石積用石材を使用して、図面のように石積みを行い、イメージ図のような壁泉を設ける。
石積みの両端は段逃げ（段落ち）とする。

3-2 小舗石・敷石・レンガ敷き・石張り

小舗石（2丁掛含む）、敷石、レンガを図面のように土ぎめで敷設する。「乱張り」と指定された箇所は、石積用石材を使用し、石張り（乱張り）を行う。

3-3 ベンチ

木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

3-4 池

図面のように施工し、差し石とエッジ（見切り材）を使い縁取りのラインを仕上げる。差し石は石積用石材の中から選ぶ。図面のように防水シートを敷設すること。小舗石サークルの中央部分は、水鉢を埋め込み、水を張り、水草を浮かべる。

3-5 木柵

木材などを使用し、詳細図のとおり施工する。

3-6 植栽

高木及び中木は、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。低木は、石積みの背後の指定箇所に修景を考慮し植栽する。必要と思われる剪定はしてもよい。

3-7 草花植栽

支給された下草・花を、指定された区画に修景を考慮して植栽する。池の手前のエリアは下草・花を修景を考慮して植栽しチップを敷く。

3-8 芝の植付け

目地なし、目土なしで、図面のように施工する。

3-9 地均し・整地

土が余った場合は、区画内で処理すること。

また国際大会に準じて、次の2点を実施する。

①モジュール採点を行う。競技1日目（10月22日）の作業終了時まで、仕様3-1石積み～3-4池を完成させること。以上の工程を競技1日目（10月22日）に採点する。

②競技前日、課題の一部を変更する。10月21日の課題説明時に、変更内容を公表する。

4 支給材料（１組分）

品 名	寸法又は規格（mm）	数 量	備 考
石積用石材 （差し石・乱張り用含む）	φ100～300×H100 内外	約 1 トン	最上石（山形県産）
小舗石	90× 90× 90	1 5 0 個	
小舗石 2 丁掛	190× 90× 90	1 0 個	
敷石	600×300× 60	2 枚	御影石 1 面ビシャン 他機械切り
レンガ	210×100× 60	6 0 個	
砂利		0.1 m ³	
水鉢	φ365×H60	1 個	鉢皿を使用
ベンチ用 平板材	90×21×2000	4 本	
ベンチ用 角材	90×90×2000	1 本	
木柵用 柱	90×90×2000	1 本	
木柵用 胴縁	48×24×2000	2 本	
木柵用 立子	90×15×2000	2 本	
木柵用 L 型金具	60×60	2 個	
ベンチ・木柵用 ビス	28 mm	3 0 本	
	32 mm	5 0 本	
	41 mm	2 4 本	
高木	H 2500 程度	1 本	9 月下旬 樹種名公表
中木	H 1800 程度	1 本	〃
中木	H 1500 程度	1 本	〃
中木	H 1500 程度	1 本	〃
中木 A	H 1500 程度	1 本	〃
低木	H 300～800 程度	1 0 本	〃
下草・草花		40 ポット	10 月上旬 内訳公表
水草		1 株	10 月上旬 公表
コウライ芝	切芝	3.5 m ²	
バークチップ		50 リットル	
防水シート	1800×5000	1 枚	薄手のブルーシートを使用
エッジ（見切り材）	2500	1 本	9 月下旬 材料写真を公表

5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参して良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用出来ない。
ただしベンチ及び木柵施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

6 その他の注意事項

- (1) ベニヤ板を2枚支給するので自由に使用して良い。
- (2) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (3) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (4) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

7 競技日程

10月21日（金）	下見・説明	集合9時30分、	開始10時、	終了11時30分
10月22日（土）	競技	集合8時、	開始8時30分、	終了16時
10月23日（日）	競技	集合7時30分、	開始8時、	終了12時30分（標準時間）
			打切り13時（打切り時間）	
		解体撤去	14時30分～16時	

8. 採点項目及び配点

採 点 項 目		配 点
作 品 採 点	客観評価	30点
	出来栄え	50点
作業時間採点 （経過時間に応じて減点）		10点
作業態度採点		10点
工具の取り扱い		
安全作業		
仕様書・図面の理解		
作業現場の清潔さ		